

2025 年 JCREES スラブ・ユーラシア研究サマースクールプログラム

開催期日：2025 年 8 月 28 日（木）～29 日（金）

会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター4 階大会議室（札幌市北区北 9 条西 7 丁目）

形式：対面

プログラム

8 月 28 日（木）

8:50：開会

9:00-10:00：服部文昭（京都大学名誉教授）「古代教会スラヴ語の誕生をめぐって」

10:15-11:15：高柳聡子（早稲田大学）「抵抗の表現としてのロシア・フェミニズム文学」

11:30-12:30：廣田千恵子（SRC）「移民による“故郷”の形成：モンゴル国カザフ人社会の装飾文化の変遷からみえること」

14:00-18:00：学生による発表

8 月 29 日（金）

9:00-10:00：藤本健太郎（小樽商科大学）「ソ連初期対日政策の形成と「失敗」」

10:15-11:15：大串敦（慶應義塾大学）「ベラルーシの統治エリート：シロヴィキによる「集団的ルカシェンコ」体制へ？」

11:30-12:30：安達祐子（上智大学）「経済制裁下のロシア：原子力分野に着目して」

14:00-18:00：学生による発表

※講義

総花的な講義ではなく、地域、時代、学問分野を限定した講義が行われる。スラブ・ユーラシア研究の魅力・面白さをアピールする講義となる。講義は 30 分、質疑が 30 分。

※学生による発表

1 人当たり持ち時間 30 分（発表 20 分、質疑 10 分）。

問い合わせ先：ss_office@slav.hokudai.ac.jp（スラブ・ユーラシア研究センター事務サマースクール担当）

※本サマースクールは、JCREES からの支援により、JCREES が主催、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターが共催して開催するものである。一部の学部学生の支援には、同センターの百瀬宏研究奨励基金も使われる。